

支援プログラム



事業所名 トモデココ放課後等デイサービス

作成日 R6.11.1

法人理念	人を育み、社会を創る		
事業所理念	子どもたちが、将来に向けて「地域の一員」として活動できるよう、一人一人の特性に応じた総合的な療育を届ける		
支援方針	<p>①一人一人に応じて、「感覚統合・ビジョントレーニング・SST・学習支援・認知トレーニング」を組み合わせた療育プログラムを作成します</p> <p>②「やってみたい」という気持ちを大切にします</p> <p>③個別と集団支援を組み合わせ、「人間力と社会性」の成長につなげます</p> <p>④子どもの育ちを促すと共に、放課後児童クラブ等の併行利用や移行に向けて支援します</p> <p>⑤指導者は、個々の専門性を活かして療育支援にあたります</p> <p>⑥家族支援を念頭に起き、常に保護者のサポーターであることを意識します</p>		
営業時間	9:30～18:30（土曜・祝日・学校休業期間は9:00～16:00）	送迎実施の有無	有 ・ 無
支援内容			
本人支援	健康・生活	食事・身だしなみ・整理整頓等の基本的な生活スキルの獲得に向け、時間や空間を分かりやすく構造化しながら支援を行います。また、活動内容や余暇の過ごし方等、自己選択・自己決定できる機会を設定しながら、生活におけるマネジメントスキルを育成します。	
	運動・感覚	器械運動・触覚袋・スクーターボード・セラパテ等の多様な感覚に働きかける指導、スムーズな眼球運動を育てるビジョントレーニング・バランスや瞬発力を育てる運動療育プログラム等により、感覚の正常化と粗大及び微細運動能力の向上を図ります。	
	認知・行動	宿題支援から明らかになるつまづきに対し、視覚処理・聴覚処理・記憶・処理速度等の個別の認知トレーニングを通して、小・中学校で求められる学ぶ力を育成します。	
	言語・コミュニケーション	挨拶・援助要請・感謝・謝罪・自分の考えや気持ちの表現・状況に応じたコミュニケーション等、家庭・学校・社会の中で欠かせない言語的・非言語的コミュニケーション能力を、来所から退所までの療育全体を通して細かく支援するとともに、お子様の特性に応じた読み書き能力の向上を図ります。	
	人間性・社会性	アナログゲーム療育・ディスカッション・ロールプレイ等を通して、周りへの気づき・ルールを守る力・他者の気持ちや意図の理解・気持ちのコントロール等を育成し、人間関係の形成や集団生活への適応力を高めていきます。	
家族支援	少人数性の参観日を設けるとともに、個別またはグループで、お子様の成長や支援方法について、相談援助を行います。	移行支援	放課後児童クラブ等の併行利用先と、お子様の状態や支援内容の共有、利用日数の調整を行います。 また、地域行事への参加や出前授業を通じた地域住民との関わり、公共交通機関の利用等、積極的に地域との交流を持ちながら、社会経験の幅を広げ、同年代の子どもをはじめとした、地域における仲間づくりを図ります。
地域支援・地域連携	地域や学校等において、安定した生活を送ることができるよう、学校や相談支援事業所等の関係機関と支援内容の共有及び情報交換を行い、連携して支援を行います。また保護者からのニーズに応じて、学校・学童に訪問し、集団生活での困りごとの解消に向けた保育所等訪問支援も実施しています。	職員の質の向上	①療育支援スキルを高める専門研修②コミュニケーション・社会人基礎力向上研修③チューター制度導入による、新入職員の育成を実施しています。社外の自己啓発研修参加の促進に向けた社内補助金制度、人材育成評価制度の活用で個々の強みを伸ばす仕組みを取り入れています。
主な行事等	土曜日・祝日の療育では、四季折々の行事やものづくり体験、自然遊び等、お子様の興味ややってみたいという気持ちを引き出す、多彩な活動プログラムを実施しています。		